

「図説 港区の歴史」について

1 目的

「図説 港区の歴史」は、区史通史編へいざなうものとし、幅広い世代が読めるよう、写真や図画等を多く取り入れ、港区の歴史を分かりやすく伝えるものとし、港区の歴史を概観することで、港区史全体の普及を目指します。

2 概要

- (1) 各時代の写真や図画等を多く取り入れ、見やすく分かりやすい、区民が親しみの持てる構成とします。
- (2) 外国の方が港区の歴史に関心を持ち、平易に理解してもらえるよう、説明を要約した英語を併記し、全世界に発信します。
- (3) 地図を掲載し、紹介した場所をプロットすることで、本書を参考に街を歩き、調べることができるようにします。
- (4) 図説版は港区の歴史を概観し、港区の歴史全体が容易につかめるものとし、より詳しい内容は区史通史編へといざないます。
- (5) 港区教育委員会に本書を紹介し、学校での活用を促すとともに、博物館展示のように構成することで、区民が郷土歴史館へも足を運び、より港区の歴史に親しめるように促します。

3 構成

構成は、上記2の概要を踏まえ、区民にとって読みやすく親しみやすいものとするため、博物館展示をイメージし、次のとおりとします。

(1) テーマの選別

港区の歴史における自然及び各時代に係わる主要なテーマを軸に構成します。主要テーマは、自然及び各時代の特徴的なトピックを基準に選定します。

(2) 構成

港区の自然及び各時代を概観し、史資料と共に分かりやすく各テーマを一連の流れで解説し、1テーマにつき見開き2面（4頁）で記述します。

史資料は、古文書等の文字資料にとどまらず、写真や地図、錦絵、図解等を多用して表現することで、視覚的にも楽しめる内容とします。

(3) 文章構造

横書き「です・ます」体（キャプションは「だ・である」体）、リード文+解説文の構造とします。

(4) 年表

港区の歴史が体系的に理解できるよう、年表を掲載します。年表の作成は、港区立郷土歴史館で掲示されている年表を礎とします。

4 刊行概要・執筆要項

(1) 仕様

- ①判型 A4判
- ②装丁 ソフトカバー、函なし
- ③発行部数 1,800部【内訳】 寄贈：1,300部 販売：500部
- ④組体裁 横書き カラー 2段 ※要約の英文併記
- ⑤構成 章、節、コラム ※コラムは、各章に設置
- ⑥文字数（見開き2面（4頁））
 - リード文 約180文字、本文 約1,800文字以内
 - （見開き1面（2頁）900文字以内）
 - ※その他、要約の英語あり
- ⑦1テーマ（見開き2面（4頁））につき使用する史資料 原則5点以上
- ⑧ページ数 260頁程度

※①、③、⑤：平成30年度第1回編さん委員会で決定済み

※④：「縦書き カラー 段組み3種類（1～3段）」を変更

※⑧：平成29年度第2回編さん委員会で決定済み

その他、今後、構成及びカバーデザインについて、平成31年度編さん委員会で決定する予定です。

5 スケジュール

平成30年	4月～	資料調査及び執筆、部会の開催
平成31年	2月～	図説版監修者確認
平成31年	4月	監修協力者確認
平成31年	4月～	通史編時代別監修者確認
平成31年	5月～	全体監修者確認
平成32年	3月	「図説 港区の歴史」刊行